

【人権腕だめし2021】

No.	人権腕だめし 設問	【解答】
設問1	ジェンダーとは、「社会的・文化的に作られた性差(gender)」のことで、社会や文化によって決まる男と女の違いをさしています。SDGsは、その目標5に「ジェンダー平等を実現しよう」というテーマをあげています。これは、こうしたジェンダーにもとづく差別や偏見をなくすことをめざしているものです。	1 はい 2 いいえ
設問2	性的指向・性自認や病歴、不妊治療等の機微な個人情報について、本人の了解を得ずに、他の人に暴露することを「アウトティング」といいます。このような行為は、本人との信頼関係が崩れるだけでなく、重大な人権侵害を招き、人格的利益やプライバシーの侵害等の法的責任が生じる可能性のある重大な行為です。	1 はい 2 いいえ
設問3	障がい者への「合理的配慮」とは、個人の気持ち次第の「思いやり」のことをいうのではなく、共生社会にとって不可欠の前提である機会平等、障害者の意向、両当事者の対話を重視するものです。また障がい者を一括りにするのではなく、障がい者一人ひとりに対するものです。「合理的配慮」は、はじめから答えがあるのではなく、対話の中で着地点を見つけていくことが大切です。	1 はい 2 いいえ
設問4	新型コロナウイルス感染症に対する知識や理解の不足による過度の不安や恐れから、社会生活の様々な場面で、何か落ち度があったかのように感染者・回復者やその家族・関係者等を非難したり中傷したりする行為が発生しています。このような行為は、これらの人たちの日常生活を困難にするだけでなく、人と人との信頼関係やつながりを壊し、社会に対して危険をもたらす行為です。感染症についての正しい知識を持ち、予防に必要な注意を払い、人々の人権が損なわれないようにすることが大切です。	1 はい 2 いいえ
設問5	私たちは、知らず知らずに、性別、職業、世代、学歴、人種・国籍など、その人の一部の要素と個人の性質・能力や行動とを根拠なく結びつけて、「同じカテゴリー(属性)の人には、共通してあてはまる」と決めつけてしまったり、その考えを他の人に押しつかけたりしてしまうことがあります。このような自分自身では気づいていない「無意識の思い込み」による「ものの見方や捉え方の歪みや偏り」のことをアンコンシャスバイアスといい、無意識のうちに相手を傷つけたり、自分自身の可能性を狭めてしまうなど、様々な影響があるので注意が必要です。	1 はい 2 いいえ